

■「取扱説明書」■
この度は、タカラトミー「トランスフォーマー MPG-04 サイバトロン/原野戦闘員トレインボットスイケン」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。
※写真及びイラストは、商品と異なる場合があります。

CONTENTS

ジョイントパーツ

トレインボットスイケン本体

武器（ストームレーザー）

ライデン用武器（トレインバズーカ）

在来線用レール A

在来線用レール B

●取扱説明書（本書）
●キャラクターカード

⚠ 注意（ちゅうい）

●この商品は対象年齢15才以上です。小さなお子様には絶対に与えないでください。●小さな部品があります。誤って飲み込むなど思わぬ事故の危険がありますので小さなお子様には絶対に与えないでください。●尖っている部品があります。取り扱いには十分注意してください。●付属の武器で人をつつく、たたく等の乱暴な遊びをしないでください。●ロボットの関節などに指をはさまないようご注意ください。●ぶついたり、振り回すなどの乱暴な遊びをしないでください。●可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。●プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。●不測の事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

（使用上の注意）○ご使用前に「取扱説明書」（本書）をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。○本体を上から押し付けしないでください。本体が倒れたり、部品が外れたりする場合があります。○本体をディスプレイする時は、本体が倒れる恐れがありますので不安定な場所にディスプレイしたり、安定性の悪いポーシングでディスプレイしないでください。○本体を持ち運ぶ際は取付けた部品等を持たず、本体をしっかり持って持ち運んでください。○製品の仕様上、変形の動作を行うと彩色部が割れたり、色移りする場合があります。また変形時や部品のつけ外しの際に部品が白くなる事があります。予めご了承ください。○本製品を樹脂製の家具等の上に長時間置くとか色が移ったり、貼り付いたりする場合があります。○包装材は開封後すぐに捨ててください。

対象年齢15才以上
©東映

株式会社 タカラトミー
〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に安全対策を講じており、改良を行っています。しかしながら、まれに一部製品に多少の欠陥が生じる場合があります。お客様からのご意見をいただき、迅速に対応させていただきます。

タカラトミーグループ お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください
0570-041034 毎日9時～18時（土日祝日を除く）
本製品ののお客様サポートは日本国内での購入から本製品がお客様のお手元に届いた時に限ります。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)
●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで www.takara-tomy.jp

トレインボットスイケン キャラクター解説

日本生まれのトランスフォーマー・トレインボット部隊のなかで最も経験豊富なベテラン戦士が、原野戦闘員スイケンである。荒れた原野での戦いを得意とする高い走破性を有しており、複雑な宇宙航路でも自在に運行可能。6両連結形態においてはジョウキの後となる2番手に連結する。

歴戦の戦士故の知識だけでなく、肉弾戦においてもスイケンは優れた能力を発揮。なかでもダイナザウラーに組み伏せられたメトロフレックスを救うべく、その体格差をものともせず投げ飛ばした姿は印象深い。メトロフレックスを補助する形とはいえ、それなりの怪力であることは確かだろう。

ピークルモードの東海形153系急行列車は、ゲッツエイに続く、狭軌となる在来線レールを走る車両。タカラトミーグループのなかで鉄道模型を手掛けるTOMIXブランドを有するトミーテックが全面協力。トミーテックが所蔵するTOMIXの貴重な資料をもとに、非変型のスケールモデルにも負けぬディテールと、印象深いカボチャのような湘南色の色調を再現した。一方で、トランスフォーマーとしてのプレイバリューとして、実車では不可能な新幹線との連結も、トレインボット専用の連結器により実現している。ピークル時のサイズは1/87スケールの在来線車両、ロボットモードでは統一したボディサイズとなるのも、MPGトレインボットの大きな魅力となる。

そんな高密度なピークルモードにもかかわらず、スイケンには重連合体戦士ライデンの武器トレインバズーカが付属。3分割して車両内に収納できる。さらにトレインバズーカは、各トレインボットの武器としても使用可能。スイケンの持つストームレーザーに加えて、左肩にマウントするキャノンも、腕などに取り付けが可能となっている。いよいよ腕が登場したことで、ライデン完成へのイメージも掴めてきたのではないだろうか。先んじて胴体を構成するジョウキと左腕となるスイケンを合体させて、まだ見ぬライデンの姿に想いを馳せて欲しい。

一部マスターピース商品に付属するディスプレイスタンドのアーム（別売）をレールに取り付けば、宇宙を自在に駆けるトレインボットのスタンドとして使用可能。空中を飛ぶスイケンの勇姿をディスプレイしよう。
※セット内容以外に別売です。

ROBOT MODE

VEHICLE MODE

GATTAI MODE

6体のトレインボットを集めると、重連合体戦士ライデンが完成。スイケンはライデンの左腕と左脚側面のブロックを構成する。もちろんライデンの手首もスイケン内部に収納されており、追加のパーツなどを使うことなく変形が可能。独立可動する五指を備えた手首には、スイケンのピークルモードに収納されるトレインバズーカを持たせることができる。重連合体戦士ライデンの完成までいよいよ残り2体。マスターピースから連なるMPGシリーズ最大の挑戦を、最後まで見届けよう!!
※セット内容以外に別売です。

■トレインバズーカ（ライデンの銃）
輸送目的に特化したトレインボットの火力を補うために開発された連結式列車砲。通常は動力砲・制御砲・付随砲の3門に分けて輸送されているが、3門を連結することで規格外の火力（便宜上「超パワー」と呼称される）を発するトレインバズーカ編成となる。その最大出力を発揮するのはライデンの胸部と連結したワウズを供給した時に限られる。トレインボット単体で運用する際には一両分のパワーで稼働するが、発射すると活動限界点まで消費するため通常は3門に分けて運用する。動力砲と制御砲、もしくは制御砲と付随砲の2門連結でも使用できる。

武器（ストームレーザー）の収納

ストームレーザー 横から見た図

01

グリップをしまします。

図のように折りたたみます。

02

武器（ストームレーザー）を車両本体に差し込み、ジョイントで固定します。収納完成

武器（ストームレーザー）の収納完成

レールの組み立て

在来線レール A

ジョイント

在来線レール B

在来線レール A と B をジョイントでつなげます。

レールの組み立て完成

別売の他車両との連結

前から見た図

連結器

図のように連結させます。

他車両との連結完成

ディスプレイスタンド（別売）の取り付け方

ピークルモード 下から見た図

ジョイント

ジョイントパーツを図のジョイントに取り付けます。

ディスプレイスタンド（別売）とレールをジョイントで固定します。

飛行ディスプレイモード完成

ロボットモードへの変形

前から見た図

トランスフォームスタート!!

01

図の部分のジョイントを外します。

図の部分のジョイントを外します。

02

分離した車両後半です。

図のパーツを開きます。

図のジョイントを外します。

図のパーツを左右に開きます。

03

下から見た図

※左右同様に變形します。

二重ヒンジで台車を上に上げます。

図のパーツを開きます。 ※開きすぎないように注意して下さい。

①車体後部を図のように回転させます。 ②二重ヒンジで図のパーツを倒します。

二重ヒンジで車体後部を後方に伸ばします。

車体後部を前方にスライドさせます。

04

下から見た図

車体後部を図のように回転させます。

図のパーツをジョイントで閉じます。

パネル裏のモールドを図のように合わせ、ジョイントで固定します。

①図のパーツを回転させます。 ②図のパーツを二重ヒンジで引き出します。

図のパーツを90°起こします。

右脚の連結器を図のようにしまします。

図のパーツを図のように回転します。

図のパーツを二重ヒンジで戻します。

左右両脚を變形したところです。

両脚を図のように少し閉じます。

05

後ろから見た図

前から見た図

後ろから見た図

図のパーツをしっかりとスライドさせます。

図のジョイントを外します。

二重ヒンジで図の部分を持ち上げます。

図のパーツを図のように倒します。

図のジョイントを外し、車体前部を左右に開きます。

06

上から見た図

※左右同様に變形します。

腕を図のように水平にします。

図のパーツを90°上に回転します。

図のパーツを内側に閉じます。

図のパーツを内側に閉じます。

図のパーツを45°倒します。

07

前から見た図

図のパーツを45°倒します。（二重ヒンジ）

図のパーツを図のように倒します。

図のパーツを90°回転します。

腕を図のように90°回転します。

図のパーツを90°回転します。

左右両腕を變形したところです。

左右両腕を図のように下ろします。

図のパーツを図のように起こします。

図のパーツを開きます。

